

東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命工学専攻分子育種学研究室



東京大学大学院農学生命科学研究科分子育種学研究室では、学生と教職員で50USERのメールサーバとしてイー・ポストメールサーバ「E-Post Mail Server Standard」が使われています。

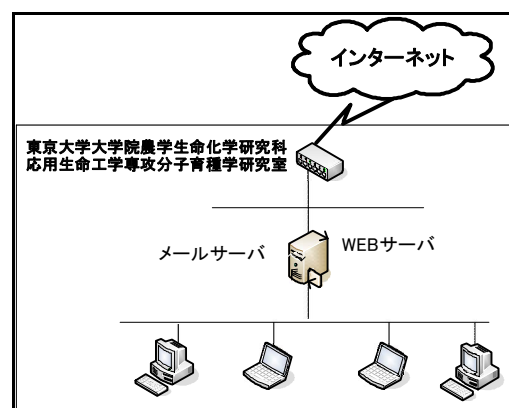
【導入の経緯】

電子メールは約15年前(1992年頃)から、東京大学内のメインメールサーバの誕生よりも早くに、研究室で独自にメールサーバを構築して利用してきました。メールボックスは20くらい、メーリングリストは10くらいを使って学生と教員間でのメールのやりとりや、海外を含めた学術機関とのメールのやりとりに利用しています。

今から4-5年前、それまで使っていたUNIX系のメールサーバのセキュリティが問題になり、別のメールサーバを探していたところ、イー・ポストのメールサーバ(旧製品)をインターネットで見つけ導入しました。その際、他のサーバもWindowsに統一し、運用を開始しました。

2年前に現行の製品「E-Post Mail Server Standard」にアップグレードし現在に至っています。

最近では1日約250~500通ほどのメール流量がありますが、約60%はスパムメールです。メールサーバに付属のフィルタリング機能によるIPアドレス拒否などを利用し、スパムの40%くらいを排除しています。全ての機能を駆使して使っているわけではありませんが、機能的にも満足して利用しています。



【User Profile】 東京大学大学院農学生命化学研究科 応用生命工学専攻分子育種学研究室

農芸化学にバイオテクノロジーの新展開を取り組み、生物の機能を生産に役立てるための基礎的研究や人材育成を行うべく、1987年度に応用生命工学専攻が誕生しました。分子育種学研究室は、この専攻の基幹講座として設立されました。

(HPより抜粋)

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 <http://mcb.bt.a.u-tokyo.ac.jp/>